

パブリック・サービス研究分科会 2009年5月定例会 「主題書誌作成と蔵書評価」研究グループ報告書	
日時	2009年5月11日(月)
場所	慶応義塾大学湘南藤沢キャンパス
記録	瀬戸山(学習院大学)
参加者	伊東(女子栄養大学)、椎名(明治学院大学)、清水(和光大学)、瀬戸山

## 1. 研究スケジュールについて

6月定例会までに各自が分担する資料についてリスト化することがあらためて確認された。また、6月定例会では、PCを使用して実際にリストを編集しながら、評価分析作業について計画する予定である。

-----

4月末迄：少なくとも1冊の引用文献をリスト化

6月定例会：評価作業開始

7月定例会：評価結果分析

8月合宿：研究終了、執筆開始

9月定例会：執筆上の質問、執筆継続

10月定例会：執筆終了、発表準備

11月定例会：発表リハーサル、発表資料修正

12月定例会：最終リハーサル、微調整

12月?日：最終発表

-----

## 2. 蔵書評価作業について

下記のような所感・案が出された。今後の検討の参考とする。

- ・ ソートしたリストはすなわち組織論分野における「良書リスト」といえるので、今回行う蔵書評価は、「チェックリスト法」による蔵書評価ということになる
- ・ 蔵書評価作業では、WebcatPlusを使用して、各タイトルの所蔵館を抽出し、出現回数によってソートする。この出現回数を総タイトル数で割り、リストの何パーセントを所蔵しているか(所蔵率)を算出し、どのような傾向が現れるかを調査する
- ・ 論文をまとめる際には、今回のリスト作成と蔵書評価の方法論について、業務で行う場合、他のリスト作成方法・蔵書評価方法を調査するなどして、今回の方法との比較検討を行い、考察も加える
- ・ 蔵書評価に関する参考論文 ([http://current.ndl.go.jp/files/report/no7/lis\\_rr\\_07.pdf](http://current.ndl.go.jp/files/report/no7/lis_rr_07.pdf))

以上